

佐野高



佐野高の科学部員たち

2016年からトウキョウサンショウウオの生息状況調査を続けている。生息環境が悪化していると知り、急きよ全県調査を行った。

題名は「栃木県産有尾目の保全に向けて」。三つの課題を設け、佐野市内のほか宇都宮市内など産卵地168地点で卵囊^{らんのう}の確認調査をしたり、宇都宮大の協力を得てDNAを抽出・増幅し遺伝的多様性を解明したりした。さらに、DNA解析を行う技術の開発にも挑戦

生物保全へDNA解析

した。

DNAを抽出する作業は失敗を繰り返したが、科学部長の2年戸室^{むろむろ}琴乃さんは「新しいことを知る楽しさがあった」、3年森戸^{もりと}夏未^{なつみ}さんも「長期間にわたる研究で、やりがいがあった」と笑顔を見せる。

前部長の3年小松^{こまつ}原^{はら}大靖^{たいせい}さんは「保護団体がある地域は、状況が良いことが分かった。部として保護活動に取り組みたい」と力を込めた。